

パネルディスカッション

- 事業承継がうまく進まないと言相談を寄せる事業者によく見受けられる背景・事情を反映した架空の2事例について、モデレーターが課題と考えられるポイントを採り上げ、パネリストである各支援機関が当該課題に対しどのような対応が採り得るかなどを意見交換。

<事例を基にしたディスカッションの模様>

- 事業者の悩みや・課題は多種多様で、まずはそれらを傾聴し、受け止める存在の重要性を主張【よろず支援拠点】
- 後継者候補がいる場合にあっても、
 - 事業を継ぐにあたっては「事業承継計画書」等の整理・準備に留意を要し、センターではそれらのアドバイスが可能である旨【事業承継・引継ぎ支援センター】
 - 後継者が経営未経験の場合の経営面のサポート人材の手当など、多様な人材マッチングニーズに対応できる旨【北國フィナンシャル HD・CC イノベーション】、
を紹介。
- 候補者がいない場合も、事業を続ける・継ぐという目的においては、第三者に譲るという道筋とそのための様々な支援機能がある旨【事業承継・引継ぎ支援センター、日本政策金融公庫、北國フィナンシャル HD・CC イノベーション】を披露。
- 候補者の有無・選定は事業の業況が大きく影響。**事業の立直し（事業再生・経営改善等）**にあたっては、
 - **収益性（PL）改善**の観点から、資金面【信用保証協会、日本政策金融公庫】と資金面以外の各種計画策定や販路・事業拡大、コンサル等【中小企業活性化協議会、信用保証協会、北國フィナンシャル HD・CC イノベーション】の支援が重要である旨、
 - **財務（BS）改善**の観点から、過剰債務の整理調整等に係る支援等も考え得る旨【中小企業活性化協議会】をコメント
- その他、経営者保証改革プログラムを基に「経営者保証に関するガイドライン」等の内容を紹介・披露
- 最後に事業者に対してのメッセージとして、以下を発信。
 - 新たな課題への気付き、再チャレンジといった観点からも、とにかく支援機関への早期相談が重要
 - 事業再生・経営改善は事業者自身の意志が大切